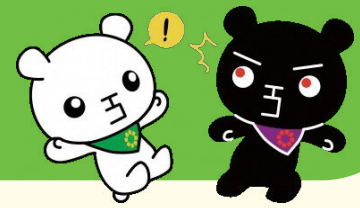


PCB 処理だより

変圧器・コンデンサーの

処分期間の末日まであとわずか!



北九州PCB処理事業は、現在、全国の中で最も早いスケジュールで処理が進められており、本年3月末日には、北九州事業エリアの変圧器・コンデンサーに関し、全国で最初に処分期間の末日を迎えます!

- 高濃度PCB廃棄物の保管者は、原則として、計画的処理完了期限の一年前(処分期間の末日)までに、JESCOと高濃度PCB廃棄物処分の委託契約を締結することが義務付けられています。

高濃度PCB廃棄物種類	処分期間の末日※	計画的処理完了期限 (特例処分期限日)
変圧器・コンデンサー	平成30年3月31日	平成31年3月31日
安定器及び汚染物等	平成33年3月31日	平成34年3月31日

※ただし、一定の要件に該当する場合は、特例処分期限日までの処分の委託契約が認められます。



現在、JESCO、国、本市のほか、関係自治体も含めた連携体制により、計画的処理完了期限内に確実に処理が完了するよう、あらゆる対策を講じています。

主な対策

- 処分委託が完了していない事業者に対し、JESCO、国、自治体が同行訪問するなど、連携を密にして、処分期間内の処分委託を締結するよう指導を徹底しています。
- 北九州事業エリアの全自治体(岡山以西の36自治体)に対して
 - 本市職員が個別訪問し、掘り起こし調査の状況や計画的処理完了期限内の処理の完了に向けた取組内容の確認を行うとともに、更なる対策の強化を要請しています。また、国においても本市の訪問結果を受けて、全自治体を個別訪問してフォローアップしています。
 - 福岡県、北九州市連名で、PCB廃棄物の計画的処理完了期限に確実に処理が完了するための徹底した対策を講じるよう要請文書を出しました。また、国においても掘り起こし調査の早期完了など、取組の徹底の要請を文書で通知しています。



現在のところ順調に処理は進捗し、それぞれの計画的処理完了期限内に完了する見込みです。

- 北九州PCB処理施設においては、計画的処理完了期限内での確実な処理完了に向けて、長期処理計画に基づき計画的に処理を行っています。
- 平成29年12月末時点における処理の進捗状況は、変圧器が98.4%、コンデンサーが94.1%、安定器及び汚染物等が59%となっており、現在のところ順調に処理は進捗し、それぞれの計画的処理完了期限内に完了する見込みです。



北九州PCB廃棄物処理施設における処理の進捗状況
(平成16年度から平成29年12月末までの処理状況)

		他の受入 地域を含む 全エリア	北九州 事業エリア	東京 事業エリア	豊田事業エリア (変圧器=車載)	大阪 事業エリア
変圧器類	処理台数①	2,763台	2,681台	—	82台	—
	登録台数	2,807台	2,696台	—	111台	—
	処理対象台数②	2,808台	2,697台	—	111台	—
	処理率①/②	98.4%	99.4%	—	73.9%	—
コンデンサー類	処理台数①	54,552台	48,985台	5,567台	—	—
	登録台数	57,943台	50,943台	7,000台	—	—
	処理対象台数②	57,963台	50,963台	7,000台	—	—
	処理率①/②	94.1%	96.1%	79.5%	—	—
安定器及び 汚染物等	処理重量①	4,185t	2,949t	—	650t	586t
	登録重量	7,044t	3,084t	—	1,931t	2,029t
	処理対象重量②	約7,093t	3,093t	—	約4,000t	—
	処理率①/②	59.0%	95.3%	—	30.9%	—

(注1) 北九州事業エリアにおける処理対象台数②および処理対象重量②については、平成29年3月末現在のJESCO登録状況、経済産業省による電気事業法届出状況及び平成27年3月末現在の環境省によるPCB特指法届出状況を用いて推計した数値。

「第5回西日本広域協議会」を開催し、関係自治体における早期処理に向けた取組内容や進捗状況を共有し、期限内の確実な処理完了に向けて一層の連携を図りました!

- 平成30年2月1日、AIMビル(小倉北区)において、関係自治体(豊田、大阪、北九州事業エリアの25府県・44市)が参加して、各自治体のPCB廃棄物処理の進捗状況の把握、処理促進に係る情報交換等を行うとともに、計画的処理完了期限内の確実な処理完了に向けて、関係者が一丸となって取り組むよう申し合わせを行いました。
- 参加全自治体から、それぞれ早期処理に向けた取組内容の報告があり、複数の自治体から、「今年度から人員を増員してPCB処理業務にあたっている」、「新たに予算を確保して掘り起こし調査及び関連する独自の取組を実施している」等の報告がありました。



第5回西日本広域協議会の様子

本市は処理施設の立地自治体として、今後も国や関係自治体に対して、計画的処理完了期限内の処理の完了を確実なものとするよう、一層の取組強化を働きかけてまいります。

「第39回北九州市PCB処理監視会議を開催」

平成30年1月25日、若松市民会館において、第39回監視会議を開催しました。会議には、監視会議委員のほか、JESCO、国、北九州市の担当者が出席し、「北九州PCB廃棄物処理施設の操業状況等」「今後の安全かつ早期の処理完了に向けた取組」について議論が行われました。



監視会議の様子

主な報告事項



処理の安全対策について

■ 事業所におけるトラブルの未然防止対策の推進と設備の更新・補修作業を確実に実施

JESCOにおいて、リスクの高い作業等に関する対策の検討や、安全意識の向上に関する取組を進めるとともに、トラブル事例・再発防止策の水平展開を継続して実施しています。また、施設の安全な操業を確保するため、長期保全計画に基づき、設備の更新・補修を確実に実施しています。



設備更新作業

■ 毎月ペースでの立入検査等の監視指導体制により事業所の適切な操業管理を徹底

北九州市において、毎月ペースでの立入検査や、JESCOと運転会社の会議に毎月参加して全てのリスク情報を現場から直接収集・把握するなど、北九州PCB処理事業所の適切な操業管理を継続して徹底しています。



事業所内立入検査

早期の処理完了に向けた取組について

現在のところ順調に処理は進捗しており、計画的処理完了期限内に完了する見込みですが、一日も早い処理の完了に向けて、JESCOにおいて次の取組を進めています。



安定器処理対象量の適正化

JESCOで処理する対象物でないPCB不使用の安定器を混在して搬入しないよう、保管場所における処理対象物の仕分けを徹底させるための取組を進めるとともに、北九州PCB処理事業所内での仕分け作業を開始しています。



安定器の仕分け作業

真空加熱分離装置を活用した小型電気機器(3kg未満)の処理

真空加熱分離装置を活用して、3kg未満の小型電気機器の一部を無害化処理することが出来るか試験処理をはじめます。



小型電気機器

環境モニタリング測定結果について

JESCO及び北九州市は、PCB廃棄物処理事業による環境への影響を把握するため、周辺環境及び排出源において定期的に環境モニタリングを実施しています。平成29年度「夏季」「秋季」に実施した環境モニタリング測定の結果は、全ての項目において環境基準に適合していました。



本市受入条件の国の履行状況について

- PCB処理対象地域の拡大と処理期限の延長受け入れの際に、本市が国に対して提示した受入条件（「処理の安全性の確保」「期間内での確実な処理」「地域の理解」「取組みの確実性の担保」計27項目）について、国において着実に履行されていることを確認しました。
- 国からは、「今後も北九州市と密接に連携し、この受入条件を全てしっかりと履行し、期限内の処理を確実に遂行することを続けてまいります」と発言がありました。

PCB事業の周知・広報について

- 専用ホームページや情報発信拠点施設により、PCB廃棄物の早期処理に向けた情報を発信しています。
- 「PCB早期処理サイト」(国) : <http://pcb-soukishori.env.go.jp/>
- 「PCB処理に関する情報サイト」(北九州市) : <http://www.waste-info.jp/pcb/>
- 「北九州市環境・コミュニティセンター」(所在地:北九州市若松区本町2丁目9-4/明治町銀天街内)

PCB処理に関する様々な情報を確認できますので、是非ご利用ください!



発行元

PCB News vol.39

環境局環境監視部環境監視課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL: 093-582-2175 FAX: 093-582-2196
メールアドレス: kan-kanshi@city.kitakyushu.lg.jp

※ PCB処理の進捗など、地域の集会等に市の職員が出向いて、説明を行います。
ご希望の方やPCB処理だよりについて感想やご意見がございましたら、上記までご連絡ください。
※ この事業について、詳しくは専用ホームページ(<http://www.waste-info.jp/pcb/>)で!!

本紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。平成30年3月 No.1712065F

